

ヴィアレブ® 用量 計算ツールユー ザーマニュアル

目次

1. 概要	2
1.1. 本計算ツールについて	2
1.2. 用途	3
1.3. 製品に関する制約事項	3
1.4. 性能特	3
2. 本計算ツールへのアクセス	3
3. 本剤の用量計算	3
3.1. 計算ルールを参照する	3
3.2. 患者さんの経口薬剤を入力する (ステップ 1)	3
3.3. 推奨総用量を確認して注入速度を設定する (ステップ 2)	3
3.4. 用量計算のサマリーを確認、ダウンロード、印刷する (ステップ 3)	4
4. テクニカルサポートへの連絡	5
5. 印刷版のユーザーガイドの入手方法	5
6. 法的情報	5

1. 概要

1.1 本計算ツールについて

この計算ツールは、進行期パーキンソン病の治療を受ける患者さんに本剤を投与する際の標準投与量を計算するためのソフトウェアアプリケーションです。本剤 開始時の処方は、患者さんに処方されている経口レボドパ製剤およびカテコール-O-メチル基転移酵素阻害薬 (COMT 阻害薬) に基づいて決定します。このソフトウェアアプリケーションは、ご自身のパソコンのウェブブラウザからアクセスできます。

1.2 用途

この計算ツールは、進行期パーキンソン病の治療において、資格を有する医療従事者のみが使用できるソフトウェアアプリケーションです。この計算ツールは、医療従事者による本剤の投与量の決定を支援することを目的としています。医療従事者がアプリケーションに入力した現在のレボドパドパ脱炭酸酵素阻害薬および COMT 阻害薬 (該当する場合) の用量に基づいて、患者さんに本剤の投与システムからを投与するための用量を決定します。

1.3 製品に関する制約事項

本製品に関する制約事項はありません。

1.4 性能特性

性能特性は、ユーザーが正確に入力したレボドパ・ドパ脱炭酸酵素阻害薬および COMT 阻害薬に基づいてホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物配合剤を正確に計算することにあります。この性能は、検証・妥当性確認活動において実証された正解率によって裏付けられており、同じ薬剤を同じ用量で入力したときに一貫して結果に差が生じないことが示されています。

2. 本計算ツールへのアクセス

本計算ツールは、ご自身のパソコンのウェブブラウザで A-CONNECTからオンラインアクセスが可能です。

3. 本剤の用量計算

3.1 計算ルールを参照する

計算ルールに、この計算ツールで患者さんの現在のレボドパ含有製剤および COMT 阻害薬から本剤の投与量を算出する方法を説明しています。計算ツールのページ右上の「計算ルール」をクリックすると参照できます。

3.2 患者さんの経口薬剤を入力する (ステップ 1)

本計算ツールを起動したら、患者さんが現在服用している薬剤を入力します。

1. 患者さんが現在服用しているレボドパ・ドパ脱炭酸酵素阻害薬を入力します。
 - a. 薬剤タイプ、含量、服用錠数を選択し、起床時の服用錠数も入力します。
 - b. 患者さんが複数のレボドパ・ドパ脱炭酸酵素阻害薬を服用している場合は、「薬剤を追加」をクリックして各薬剤の入力行を追加します。
 - c. 入力した薬剤を削除するには、「行を削除」をクリックします。
2. 患者さんが COMT 阻害薬を単独または併用で服用しているかどうかを入力します。
3. 「計算」ボタンをクリックします。
4. 入力データをすべて削除するには、「リセット」ボタンをクリックします。

3.3 推奨総用量を確認して注入速度を設定する (ステップ 2)

ステップ 1 で入力したデータを変更するには、計算ツール上部のナビゲーションバーの「ステップ 1」をクリックします。ステップ 1 での変更が終了したら、「計算」ボタンをクリックして変更を保存し、ステップ 2 のページに進みます。

「推奨総用量」のセクション:

- 患者さんが現在服用しているレボドパ含有製剤に基づいたレボドパ換算量の合計が表示されます。
- 本剤の持続投与の推奨総投与量、基本注入速度、本剤の添付文書に基づく推奨負荷投与量が表示されます。

「持続注入速度を設定」のセクション: 算出された基本注入速度が自動的に入力されます。基本注入速度すなわち標準投与量は必要に応じて変更できます。

1. 患者さんごとの標準投与量を確認し、必要に応じて数値を変更します。
2. 患者さんが投与量を変更できるようにする場合は、投与量（多めおよび少なめ）を設定してください。
 - a. 投与量（多め）は標準投与量よりも大きい値、投与量（少なめ）は標準投与量よりも小さい値としてください。
 - b. 投与量を変えたくない場合は、投与量（多め）、標準投与量、投与量（少なめ）を同じ値のままにしておいてください。

「追加投与量の設定」のセクション:

1. 患者さんに追加投与が必要な場合は「はい」を選択します。
2. リストから追加投与量を選択します。おおよそのレボドパ換算量が自動計算されます。
3. 追加投与回数を入力します。追加投与ロックアウト時間は自動計算されます。

「負荷投与量の設定」のセクション:

1. 患者さんに負荷投与が必要な場合は「はい」を選択します。
2. リストから負荷投与量を選択します。おおよそのレボドパ換算量が自動計算されます。
3. 負荷投与ロックアウト時間を入力します。
4. 「サマリーを確認」をクリックします。

3.4 持続投与の投与量のサマリーを確認、ダウンロード、印刷する (ステップ 3)

ステップ 3 のページでは、以下のサマリーが表示されます。

- 患者さんの現在の現在のレボドパ含有製剤のレボドパ換算量の合計
- 算出された本剤の持続投与の投与量

各値を変更する場合はステップ2に戻って再度設定してください。

- 標準投与量、投与量（多め）、投与量（少なめ）
- 追加投与量とロックアウトタイム（任意）
- 負荷投与量とロックアウトタイム（任意）

サマリーのページには、患者さんが本剤での治療を開始するときに必要なバイアルと箱の予定数も表示されます。

このセクションを表示させるには、「表示」をクリックします。

本剤の サマリーをダウンロードするには、「ダウンロードまたは印刷」をクリックします。

4. テクニカルサポートへの連絡

テクニカルサポートへの連絡が必要な場合は、下記リンクより問い合わせください。

(Webサイトに関するお問い合わせ)

<https://a-connect2.abbvie.co.jp/contents/contact/contact.aspx?r=m>

5. 印刷版のユーザーガイドの入手方法

印刷版のユーザーガイドが必要な場合も、同様に下記リンクよりお問い合わせください。

(Webサイトに関するお問い合わせ)

<https://a-connect2.abbvie.co.jp/contents/contact/contact.aspx?r=m>

6. 法的情報



AbbVie Inc.

1 North Waukegan Road North Chicago IL 60064 - USA

www.abbvie.com

本計算ツールに関して重大な事故が発生した場合は、製造業者および自国の所轄官庁にご報告ください。

A-CONNECTをご参照のうえ、ご使用になるユーザーガイドが最新版であることをご確認ください。